

2023年度(令和5年度)
各地方向け
地域放送番組編集計画

NHK

目次

関東甲信越地方	1
近畿地方	7
中部地方	11
中国地方	15
九州沖縄地方	19
東北地方	24
北海道地方	28
四国地方	32

関東甲信越地方向け基本方針

- 関東甲信越地方の各放送局は、地域の安全・安心を守る正確な情報をお届けします。緊迫する国際情勢は、物価高やエネルギー問題となって地域の生活に大きな影響を与えています。不安が高まる治安への対応やウィズコロナの暮らし方も問われています。地域社会から求められる役割を果たし、課題解決型の発信で地域に必要とされる公共メディアを目指します。
- 2023年は関東大震災から100年になります。関東甲信越の各地では一世紀を経た今も地震が頻発し大規模災害に備える情報のニーズは高まっています。関東大震災の教訓を改めて検証し、首都直下地震や都市型災害に備える防災・減災報道の取り組みを強化し、災害時の的確な情報発信に万全を期します。各地域のFM局やケーブルテレビ、自治体などとの協力関係を日頃から築き、各放送局の連携も密にして、いざという時に備えます。
- 統一地方選挙(投票日・2023年4月9日、23日)をはじめ、各種選挙報道に万全の態勢で臨み、有権者の判断のよりどころとなる情報を公平・公正に伝え、正確・迅速な報道に全力を尽くします。環境問題、格差・貧困、少子化や教育問題、人口集中・過疎など、地域社会の課題に自分事として向き合います。放送とデジタルを駆使して地域の声を聞き、問題提起し、意見や情報を募り、番組に反映させる循環を実践することで、課題解決に向けた公共的な役割を果たす地域社会のプラットフォームを目指します。
- 大都会と豊かな自然、さまざまな特徴を持ち合わせた関東甲信越。大河ドラマ「どうする家康」をはじめ全国放送の番組と連携、貴重なアーカイブスも最大限活用し、文化、歴史、自然、風土など各地の多彩な魅力を発信します。また、地域スポーツの振興にも寄与します。NHKプラスを活用して、地域の情報を全国に発信するとともに、地元を取り上げた全国放送を見てもらい、地域の振興につなげます。より視聴者に身近に感じてもらえる公共メディアを目指し、放送やサービスを通して幅広い視聴者とのタッチポイントづくりを戦略的に展開し、共感と納得につなげていきます。

各局の重点事項

首都圏局

■ 確かな暮らしの指針となる首都圏の地域情報をお届けします

エネルギー資源の高騰や物価高は私たちの暮らしを脅かしています。長引くコロナ禍への対応などを巡っては、人々の意見の隔たりも大きくなっています。少子高齢化が進んだ社会の中では、ヤングケアラーなどに代表されるような医療や教育・福祉面で新たな課題が生じています。2023年度も引き続き放送枠を1時間にしてお届けする平日午後6時台のニュース・情報番組では、「暮らしの現場で何が起きているのか」「生活にどう影響するのか」「どんな解決策があるのか」にこだわってお伝えします。また、関東大震災から100年の節目になることから、地域にこだわり防災・減災を考えます。さらにさまざまな地域放送番組では、暮らしを豊かにする情報もお伝えし、確かな暮らしの指針となる首都圏の地域情報をお届けします。

■ 放送×デジタル 社会の声に耳を澄まし幅広い世代に伝えます

SNS上には連日、テレビの話題がツイートされているように、テレビとインターネットは、さまざまな課題を共有して議論できる社会的なツールと言えます。首都圏局では、自ら制作・運営している4つの番組やウェブサイト、SNSを駆使して社会や地域の声に耳を傾け、さまざまな課題を掘り起こすとともに、徹底的に取材。その成果を放送とデジタルを使って幅広く共有、課題解決の糸口を探る取り組みを一層進めます。

■ 地域に貢献し、地域のみなさんと一緒に地域の良さを見つめなおします

東京・神奈川・千葉・埼玉という人口が多いエリアで、首都圏局が「おすまいの地域の放送局」であることを意識していただけるような放送サービス・視聴者とのタッチポイントづくりに努めます。大河ドラマ「どうする家康」や連続テレビ小説「らんまん」をはじめ、首都圏を舞台にしたドラマや紀行、ドキュメンタリーと連携して地域を盛り上げ、視聴者が多様なコンテンツに触れる機会を、放送やイベントを通して提供します。

横浜放送局

■ 地域に寄り添ったきめ細かい情報発信を強化し、必要な情報を届けます

ビルが密集する都市部から豊かな自然に恵まれた地域まで、多様な表情を持つ神奈川県各地域が持つ魅力や課題解決に向けた情報を、放送・デジタルなどさまざまな形できめ細かく提供し、コンテンツ発信力も強化します。関東大震災から100年になるのを機に、この100年を見つめ直すとともに、地域のケーブルテレビやコミュニティFMとも連携しながら、首都直下地震や脅威を増す豪雨災害などに備えた“地域の安全・安心”を守る防災・減災報道の強化にもつなげます。

■ 地域に根ざした暮らし、文化、スポーツ情報などの発信強化に努めます

子育てや教育など暮らしに密接したテーマに目を向け、暮らしを豊かにする確かな情報を発信して公共メディアとしての役割を果たします。ラジオ第1放送では、“ジャズの街”横浜の魅力を伝える公開生放

送を引き続き実施し、地域とともにある番組作りを進めます。「横浜トリエンナーレ」やサッカーJリーグ30年の節目などと連動し、地域に根ざした文化やスポーツなどの情報発信を強化して地域の活性化につなげます。

前橋放送局

- **暮らしを支え、より役立つ情報の発信を強化し、明日への活力を届けます**
平日午後6時台のニュース・情報番組では、ニュースの深層を読み解く解説コーナーなどを設け、より広くより深いニュースの発信を強化します。また、これまで以上に子育て世代・現役世代の明日の暮らしに役立つ情報を伝えていきます。そして、開局90年となる2023年度を起点に10年先の“地域の未来”を担う力に注目するプロジェクトを立ち上げ、金曜午後7時台の番組で地域再生などの課題の解決を後押しすることで、群馬県の地域活性化に貢献します。
- **地域との“連携”を深め、“公共メディア”としての信頼をより高めます**
コミュニティFM・ケーブルテレビとの連携を強化し、これまで以上に地域に密着した情報を発信します。特に“安全・安心”に結びつく企画の制作を行うとともに、緊急報道では速やかにライフライン情報などが届けられる体制を整えます。また、県内に約6万人が暮らす外国人との“多文化共生”に向けた情報発信を継続的に行います。人手不足の問題にどう向き合い、外国人材をどう生かしていけばいいのかなど、解決へのヒントとなる情報を発信し、公共メディアとしての価値と信頼を高めていきます。

水戸放送局

- **“視聴者が求める情報”を丁寧に発信し、豊かな地域づくりに貢献します**
茨城県は、依然として続く新型コロナウイルス感染症の流行に加え、地震など各種災害の多発、東海第二原子力発電所の再稼働問題など、暮らしに関わるさまざまな課題に直面しています。一方で、全国に誇れる食材、自然環境、それに科学技術やスポーツなど多方面で活躍する人々と、多彩な魅力にあふれています。こうした地域に一層密着し、“視聴者が求める情報”を徹底追求して、平日午後6時台のニュース・情報番組や金曜午前11時台および午後7時台の番組などで丁寧に伝えていくほか、全国発信も積極的に進めることで、諸課題の解決と豊かな地域づくりに貢献します。
- **多様な手段による情報発信を強化し、より支持される公共メディアを目指します**
茨城県で唯一の県域テレビ局として放送コンテンツのさらなる充実を図るとともに、放送と連動したインターネット・SNS発信を一段と強化し、テレビ離れが進むとされる若い世代など幅広い人たちに情報を届けきります。また、地理的要因から県の南部や西部を中心に東京の放送を視聴する世帯が少なくない実情も踏まえ、平日午後6時台のニュース・情報番組の見逃し配信を開始したNHKプラスの周知に引き続き努めるなど、多くの視聴者に“公共メディアの価値”を実感してもらえるよう取り組みます。

千葉放送局

- **千葉県の課題と向き合い、安全・安心に役立つ情報を迅速に、よりきめ細かく伝えます**

人口が急増する県北西部と第一次産業比率の高い県東部・南部などと大きく異なる地域性や三方海に囲まれた豊かな自然を巡るさまざまな課題について視聴者に寄り添い、ともに考え、地域活性化を目指して解決へのヒントを探ります。また、台風や大地震への備えに向けて、全局体制で放送やデジタルを連動させてきめ細かい防災・減災情報を届けるとともに、自治体や県内の民放テレビ、ケーブルテレビ・FM各局との関係をより一層強化し、県民に安全・安心の情報をいち早く多様な手段で提供します。
- **開局80年を契機に千葉県の魅力をより広く発信し、県民の人たちとの結びつきを強めます**

開局80年となる放送局の信頼感と存在感を一段と高めるため、子どもや若者、現役世代、高齢者まで幅広い世代の意向を丁寧に把握し、放送やイベント、サービスに反映するとともに、敷地内の花壇である「NHK千葉ガーデン」を活用して公共メディアとして地域との接点を増やします。また、千葉県誕生150周年にあわせて、千葉県で起きた過去の出来事や経験を踏まえ、未来に向けた県内54市町村のそれぞれの魅力を発掘し、県民と地域をつなぐハブ役としての役割を果たします。

宇都宮放送局

- **“より詳しく”“より親しみやすく” デジタル連携やメディア連携を生かして情報発信の充実に努めます**

平日午後6時台のニュース・情報番組では、2022年度から始めた地域課題解決型の企画をさらに充実させて、地域の課題や魅力をより詳しく、より親しみやすい形で伝えて視聴者の期待に応えます。取材した記者やディレクターたちが放送では十分に伝えきれなかった内容を詳しく伝えるウェブ記事の発信にも力を入れて、放送とインターネットの連携を深めることで地域の情報発信を強化します。

また、防災・減災においては、各地域のケーブルテレビとの協力関係を強めて、公共メディアとして、いざという時に備えます。統一地方選挙をはじめ、選挙報道に万全の態勢で臨み、県内他メディアとの協力関係も生かして、正確・迅速な報道に全力を尽くします。
- **地域の話や魅力を広く届けて、“栃木の良さを実感できる”放送局を目指します**

世界遺産「日光の社寺」をはじめとする歴史文化や豊かな自然に恵まれた栃木県。県が誕生して150年を迎える2023年、地域の魅力の発信をさらに強化します。金曜午後7時台の地域放送番組は、多彩なラインアップをそろえて、“栃木の良さを実感できる時間帯”として浸透を図ります。また、平日午後6時台のニュース・情報番組で県内各地のありし日の姿を映した貴重なアーカイブス映像は、特集番組やSNS発信にも活用し、文化、歴史、自然、風土といった県内の多彩な魅力を広く届けていきます。さらに、地域スポーツの発信や全国放送番組の制作、大河ドラマ「どうする家康」をはじめとする番組との連携などを通じて、地域の魅力を県内外に発信します。これらの取り組みを通して開局80年となる放送局の存在感を一段と高め、地域の視聴者の期待に応えていきます。

さいたま放送局

- **“彩の国 埼玉”の魅力をより幅広い視聴者に届けます**

“地元目線”を大切に、視聴者の新たな発見を促すコンテンツの制作に取り組みます。全国で3番目に多い63の市町村を有する埼玉県は、都心のベッドタウンとして首都圏の一角を構成する一方、武蔵

野や奥秩父山塊など緑豊かな自然にあふれています。埼玉県多彩な魅力を地域のFM局やケーブルテレビ、自治体などと協力して幅広い視聴者のみなさまにきめ細かく発信し、地域情報のハブとしての役割を果たします。

■ 地域の課題に寄り添い、解決に役立つ情報を発信します

地域が抱える課題を視聴者と一緒に考え、改善に向けたヒントが得られる情報の発信を目指します。少子高齢化や外国人との共生、いじめや貧困など子どもたちが直面する課題などについて、テレビやラジオだけでなく、インターネットやSNS、イベントも活用して視聴者との結びつきを強め、ともに解決に向けた道筋を探ることで、地域の活性化に一層貢献します。また、帰宅困難者対策や局地的大雨への備えなど、県民の命と暮らしを守る防災・減災報道に全力で取り組みます。

長野放送局

■ 信州の魅力や課題を掘り起こし、多様化する県民ニーズに応えます

広大な面積の長野県では、文化や関心、課題などが土地ごとに大きく異なり、メディアに対する地域や世代ごとのニーズも多様化しています。県内各地の魅力をきめ細かく取材するとともに県民が日頃感じている疑問や課題を募る「疑問解決コーナー」などを通して課題を丁寧に掘り起こします。こうした情報を平日の午後6時台、金曜午後7時台に加えて、2022年度にスタートした土曜午前7時台と午後11時台の地域放送番組、さらにラジオやデジタルも最大限活用して発信し、多様化する県民ニーズに応じていきます。

■ プロジェクトなどを通じた多彩な発信により、公共メディアとしての存在感を高めます

長野県の豊かな食文化を再発見するプロジェクトを通じた発信や、大河ドラマ「どうする家康」をはじめとする全国放送番組との連携などにより、信州の文化や歴史、自然などの魅力を地域はもとより全国に広く発信していきます。さらにサッカーや野球、バスケットボールなど地域に根づいたスポーツの話題を継続的に取り上げ、県民の期待に応えます。いずれも、放送・デジタル発信と連動したイベントなど、視聴者のみなさまとの接点を広げる取り組みを展開し、地域とともにある放送局として、公共メディアの存在感を高めていきます。

新潟放送局

■ 地域の課題に寄り添い、ともに考え、改善に向けて役立つ情報を発信します

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を巡る動き、後継者不足と消費低迷、米価下落に加え肥料代高騰で厳しさを増す米づくり、新型コロナウイルスと物価高騰で深刻な影響を受けている地域経済、毎年2万人前後減少している人口。新潟県が直面するこうした課題に向き合い、ともに考え、県民が改善に向けたヒントを得られるような情報の発信に努めます。地域で活動する人々に寄り添い、困難に立ち向かう取り組みを積極的に取り上げ、応援していきます。大雨や大雪、地震の被害を少しでも抑えるため、災害時はもちろん、平時から防災・減災につながる情報発信に力を入れます。放送と連動したデジタルの発信にさらに力を入れ、視聴者が詳しい情報を必要な時に見られるよう取り組みます。

- **地域のスポーツや話題、魅力を発信して、新潟の活性化に貢献します**

サッカーJ1復帰の悲願を果たした「アルビレックス新潟」、世界遺産への登録を目指す「佐渡島の金山」、佐渡に生息する特別天然記念物「トキ」、2023年5月に新潟市で開かれる G7(主要7か国)財務相・中央銀行総裁会議など地域の人々が誇りに思う話題を全国に向けて積極的に発信します。新潟県の豊かな食材や美しい自然、ものづくりや伝統芸能を多角的に取材し、その魅力や奥深い世界を4Kの超高精細映像も駆使して紹介することで、観光の振興や産業の発展、自然保護や文化の継承など地域の活性化に貢献します。

甲府放送局

- **県民が求める“見たい”“知りたい”に応え、地域発信の質を強化します**

進む高齢化と人口減少、新型コロナウイルス感染症流行の長期化や物価高による地域経済への影響、そして果樹栽培にも大きな変化をもたらしている温暖化への対応などの山梨が直面する課題。「信玄公祭り」に代表される地域のイベントや地元スポーツチームの活躍など、山梨の魅力や山梨を元気にする情報。県民の“見たい”“知りたい”に応え、地域発信の質を高めます。放送だけでなくデジタルでも、役立つ情報、魅力的なコンテンツを発信します。

- **世界に誇る富士山の魅力を多角的に発信します**

世界に誇る日本のシンボル、富士山。2023年は世界文化遺産の登録から10年となる節目の年です。富士山の豊かな自然や歴史、古くから伝わる信仰など、次世代に残していくべき魅力をニュース企画や番組をはじめ、インターネットやSNS、イベントなども活用し、多角的に発信していきます。また、富士山の魅力だけでなく、観光や噴火への備えなどの課題も取り上げ、地域の活性化に貢献するとともに地域に暮らす人々の安全・安心に寄与します。富士山のテーマには静岡放送局とも連携して取り組んでいきます。

近畿地方向け基本方針

- 近畿地方の6つの放送局は、地域社会の維持・発展に貢献することを使命とします。
- 地域の人々の安全・安心を支えるため、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えて、日頃から防災・減災に資する情報を伝えるとともに、災害発生時には、正確できめ細かな情報をテレビ・ラジオ・インターネットそれぞれの特性を生かしながら迅速に伝えます。特に大阪放送局は、首都直下地震などに備え、本部代替機能を一層強化するほか、西日本のBCP強化も視野に、災害時の広域的な支援体制を構築します。また、新型コロナウイルスなど感染症に関する確かな情報や、地域課題とその解決につながる情報を積極的に発信し、信頼される「情報の社会的基盤」としての役割を果たします。
- 選挙報道では、統一地方選挙(4月9日、23日)などにおいて、正確で公平・公正な報道で視聴者の信頼に応え、健全な民主主義の発展に寄与します。
- 地域活性化に貢献するために、2025年の日本国際博覧会(大阪・関西万博)をはじめとして、近畿地方が誇る歴史・伝統文化・芸術・観光資源などの多彩な魅力を、近畿だけでなく、全国・世界に発信します。また、活動が盛んなアマチュアスポーツをはじめ、地域に根ざしたプロスポーツなど、近畿地方のスポーツを盛り上げます。
教養や福祉、娯楽など多様なジャンルで、質の高いコンテンツを充実させて、人々の生活や心の豊かさに役立つよう努めます。
- 近畿地方の各局は、ネットワークを生かし、地域向けにきめ細かな情報を伝えるとともに、近畿地方を取り上げたアーカイブスも活用するなど、地域のニーズにあわせたコンテンツの強化で、“新しいNHK”を感じてもらえるよう努めます。

各局の重点事項

大阪放送局

- **近畿地方における情報発信の拠点として、視聴者が必要とするコンテンツを提供します**
報道・教養・娯楽など各ジャンルで、視聴者の役に立つコンテンツを提供し、公共メディアの価値を実感いただけるよう努めます。平日午後6時台の地域向けニュース番組や週末の情報番組などの内容をより充実させるとともに、地域の魅力を紹介する番組、伝統芸能番組など日頃からお伝えしている番組についても内容を強化し、視聴者に満足いただけるよう取り組みます。
- **アーカイブスや中継番組、特集番組を活用し、多様なニーズに応えるコンテンツを提供します**
幅広い年齢層の多様なニーズに応えるため、バラエティーに富んだコンテンツを提供できるよう努めます。近畿地方の豊かな自然や文化、そこに暮らす人たちの営みなどを記録した豊富なアーカイブスを積極的に活用します。また、スポーツ中継や芸術、エンターテインメントを扱った番組を随時放送するとともに、さまざまなジャンルで新たな演出に挑戦する番組にも積極的に取り組み、多くの人たちに満足いただける放送を目指します。
- **コンテンツ情報を積極的に発信するとともに、NHKプラスを活用し、視聴機会を確保します**
放送・デジタル・イベントなどさまざまな手段を活用して、積極的にコンテンツに関する情報を発信し、視聴者に向けてコンテンツが届くよう努めます。あわせてNHKプラスを利用することで、番組を見逃した場合や外出先などでもコンテンツをご覧いただけることを周知し、視聴者の視聴機会を確保します。

京都放送局

- **“文化首都”を目指す都の伝統文化や美しい景観を全国・世界に発信します**
2023年、文化庁が京都に移転します。京都市が“文化首都”を目指すのに合わせて、千年の都が育んできた伝統行事や国宝などの文化財、自然と歴史が調和した美しい景観を、超高精細映像で記録し、全国・世界に発信します。同時に、京都放送局の8Kプラザを活用し、地域の人たちに京都の魅力を多角的に体験していただく関連イベントを開催します。
- **府内各地域の魅力と課題に目を向け、地域の人たちとの結びつきを強めます**
平日午後6時台のニュース・情報番組で、府内の26市町村を順次回り、地域の魅力を掘り起こすとともに、地域の課題とその解決につながる情報を積極的に発信します。また視聴者からの素朴な疑問に答える「こえきく！！プロジェクト」を継続します。コロナ禍での悩み、行政に関する疑問、子育てや教育に関する困りごとなどを定期的に紹介し、それを出発点に、番組・イベント・キャンペーンなどを実施し、解決の糸口を探っていきます。

神戸放送局

- **“兵庫五国”の多様性を大切に取り上げ、地域の放送局としての存在意義を高めます**

摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国からなる兵庫県は、文化、風習も多様性に富んでいます。取材・放送のスキルを持つ外部機関とも協力しながら、これまで以上に丁寧に各地域の“今”や暮らしを取り上げます。地域応援キャンペーン「たっぷり！」なども適宜展開します。また“日本のジャズ発祥の地”神戸では、2023年が、最初のジャズバンド結成から100年にあたります。こうした地域で育まれてきた文化の発信の担い手としての役割を果たし、兵庫県の放送局としての存在意義を高めていきます。
- **放送とデジタル発信で幅広い視聴者に届け、“頼りになる”放送局を目指します**

多様性に富む兵庫県の各地域の政治・経済の動きや地域課題などを掘り起こし、解決の糸口を探っていきます。また、2024年1月で発生から29年が経過する阪神・淡路大震災の記憶、教訓を伝え続け、近い将来に予想される南海トラフ巨大地震をはじめさまざまな災害への備えにつながる情報を発信し続けます。さらに、放送だけでなくSNSなどデジタル分野でも積極的に発信し、地域の人たちに、課題解決や安心につながる情報を、いち早く届ける“頼りになる”放送局を目指します。

和歌山放送局

- **南海トラフ巨大地震、災害に備えます**

南海トラフ巨大地震をはじめとした災害から命と暮らしを守り、犠牲者ゼロを目指す“守るプロジェクト”を全局体制で展開します。平日午後6時台のニュース・情報番組で、防災・減災に関するニュースや情報を積極的に伝えるほか、FMラジオでも、県内のコミュニティFM局と連携して防災番組を制作・放送します。また、台風などの気象災害が激しさを増す中、2011年の紀伊半島豪雨の記憶を次の世代に伝えるとともに、災害の教訓をどう生かすか検証し、大雨洪水や土砂災害への警戒を呼びかける取り組みを続けます。
- **和歌山県内各地域の魅力と課題を掘り下げて伝え、県内外に広く発信します**

過疎・高齢化、新型コロナウイルスなど和歌山県が抱える課題について、平日午後6時台のニュース・情報番組で掘り下げて伝え、課題解決に向けた取り組みやアイデアを紹介します。また、番組では、県内の1つの市町村を集中的に取り上げるシリーズを展開するなど、さまざまな方法で地域の魅力や地域で活躍する人々を紹介します。制作したコンテンツはNHKプラスのほか、ホームページやSNSも使って県内外に広く発信します。

奈良放送局

- **奈良の課題を掘り下げ、安全・安心な暮らしに貢献するコンテンツを発信します**

平日午後6時台のニュース・情報番組は、さらに内容の充実を図ります。4月に行われる知事選挙や日頃の取材などを通して、コロナ禍からの産業の回復や少子高齢化、子育て支援、介護・福祉・医療の充実、インフラ整備など地域の課題を探り、解決に向けたヒントを提供します。また、2011年の紀伊半島豪雨の教訓の継承に取り組み、防災・減災に役立つ情報を発信し、県内の視聴者に信頼される放送局を目指します。

- **歴史・文化など奈良の魅力を発信し、地域の人が元気になる話題を提供します**

世界遺産や国宝、貴重な自然など、奈良の魅力を超高精細映像で記録し、放送やデジタルで県内外に幅広く届けるとともに、NHKの4K・8Kコンテンツを活用した視聴者サービスの充実を図ります。また、サッカーJリーグに新たに参入する「奈良クラブ」など、地域の明るい話題や多彩な分野で活躍する人々を取り上げ、若者をはじめ幅広い世代が地域に誇りをもち、地域が活気づく話題を発信します。

大津放送局

- **滋賀にこだわり、地域の課題解決、安全・安心に貢献します**

平日午後6時台のニュース・情報番組では、新型コロナウイルスや少子高齢化や地場産業の活性化など地域の課題をきめ細かく取材し、解決のヒントとなる情報を発信します。テレビの防災コーナーやFM ラジオでの防災番組を充実させ、災害の際には、テレビやラジオ、インターネットなどあらゆる手段で最新の情報を発信し、地域の安全・安心に貢献します。

- **歴史的な遺産や自然、伝統など滋賀県の魅力を広く発信します**

滋賀県で起きた戦国時代の合戦など歴史上の出来事にあらためて焦点をあて、わかりやすく伝えるほか、びわ湖に代表される豊かな自然や各地に残る伝統文化を丁寧に取材し、滋賀県内をはじめ関西や全国に向け番組を発信します。また高校野球やバスケットボールBリーグ「滋賀レイクス」など地域に根ざしたスポーツをニュースや番組、中継で積極的に取り上げ、地域を元気にします。

中部地方向け基本方針

- 東海と北陸という文化や歴史、風土が大きく異なるエリアからなる中部地方。それぞれのエリアに応じた放送やサービスを一層充実させていきます。各放送局は、それぞれの地域に特有の課題と真摯(しんし)に向き合い、地域に暮らす人たちのニーズに応え、幅広い世代から親しまれる放送局を目指します。さらに、7つの放送局がもつネットワークも生かし、各地の特性に根ざしたコンテンツをより広く発信していきます。また、多様な価値観や個性を尊重し、共生社会の実現に寄与します。
- 中部地方はこれまで何度も台風・大雨、記録的な猛暑・大雪といった多くの自然災害に見舞われてきました。東海地方では南海トラフ巨大地震による甚大な被害が想定されています。それらの災害に備え、日頃から防災・減災につながる情報の発信に努めます。そして、災害発生時にはテレビ、ラジオ、インターネットそれぞれのメディアの特性を生かして、正確・迅速に必要な情報を届けます。また、新たな段階を迎えた新型コロナウイルスや激変する国際情勢、円安による物価高騰など地域の経済や生活に多大な影響を及ぼす社会課題について多角的に発信し、命と暮らしを守る公共メディアとしての役割を果たします。
- 4月の統一地方選挙(投票日・2023年4月9日、23日)では、地域に与える影響や争点など有権者の判断のよりどころとなる情報を、丁寧にわかりやすく伝え、公平・公正で正確な選挙報道に万全を期します。
- さまざまなスポーツチームが存在する中部地方。試合の中継はもちろん、各放送局のニュース・情報番組を通じて、プロ・アマチュアを問わず地域のスポーツを盛り上げ、地域の活性化に貢献します。また、各地の大自然やエンターテインメントなど多彩なジャンルのコンテンツを届けるとともに、放送・デジタル・イベントを連動させ、地域の視聴者の幅広い関心と期待に応える放送局を目指します。

各局の重点事項

名古屋放送局

- **地域の人々の命と暮らしを守る情報の発信に全力で取り組みます**

東海地方は、巨大台風や記録的な大雨などによる自然災害に繰り返しさらされてきました。また、南海トラフ巨大地震による甚大な被害も想定されています。こうした事態に備え、日頃から防災・減災につながる情報の発信に積極的に取り組みます。いざという時には、ライフラインなどの“本当に求められている”情報を、テレビやラジオ、インターネットなどあらゆるメディアの特性を生かして正確・迅速に届けます。
- **「どうする家康」を通じて愛知県の魅力を積極的に発信し、地域に愛される放送局を目指します**

愛知県が主な舞台の一つとなる大河ドラマ「どうする家康」。徳川家康ゆかりの地域など、ドラマをきっかけに地域振興に注力する各自治体との連携を深めながら、地域の一員として愛知県の魅力を発信していきます。また、東海地方の学生と一緒に番組やイベントなどさまざまな企画を制作・実施するプロジェクトを通して、若年層との新たなタッチポイントを創出します。放送・デジタル・イベントなどさまざまな手段を駆使して、地域の人々の期待に応える放送局を目指します。
- **地域の課題に向き合い、地域社会に貢献します**

平日午後6時台のニュース・情報番組では、話題のスポットからの中継や、外国人などのさまざまな背景を持つ人たちとの“多文化共生”をテーマにしたコンテンツを引き続き発信します。また、地域の人々から寄せられた疑問を継続的に取材し、解決への道筋を探り、双方向の結びつきを強化します。金曜午後7時台の地域放送番組では、地域の視聴者の関心の高いテーマをこれまで以上にビビッドに伝えます。また、プロ野球「中日ドラゴンズ」やサッカーJリーグ「名古屋グランパス」など地元チームの試合を中継するほか、デジタル・イベントとも連動させ、地域を盛り上げます。コンテンツ制作にあたっては、お互いの多様性を認め、人格や個性を尊重し合う社会の実現につながる番組作りや演出に努めます。

金沢放送局

- **石川県民の命と暮らしを守り、地域に役立ち信頼される放送局を目指します**

石川県では、近年、集中豪雨による浸水被害が増加し、能登では依然として地震が相次いでいます。たび重なる自然災害に対応するため、地域の防災・減災情報の発信拠点として、災害報道に全力で取り組むほか、県民の防災意識を高めることに貢献します。平日午後6時台のニュース・情報番組を中心に、県民が知りたい情報と課題、コロナ禍後の地域社会の再生をはじめ、大相撲の郷土出身力士、サッカーJリーグ「ツエーゲン金沢」など、地域のスポーツも積極的に取り上げます。さらに放送とデジタルで多角的に発信し、地域の人々に役立ち、信頼される放送局を目指します。
- **“北陸発”の地域放送番組の定着を目指し、地域の活性化と発展に寄与します**

金沢・福井・富山の北陸の3つの放送局が合同で昨年度開発した金曜午後7時台の地域放送番組では、これまでの常識や伝統を打ち破ろうと立ち上がった人たちを取材。北陸3県の“光”だけでなく“影”にもタブーなく切り込んでいきます。若い世代にも見てもらうため斬新な演出に挑戦、北陸の未

来についてとことん語り合います。さらなる定着を目指し、引き続き北陸に共通する課題に正面から向き合い、放送とデジタルで発信を強化していきます。

静岡放送局

■ 県民の命と暮らしを守る報道に全力を尽くし、安全で安心な社会に貢献します

県民の命と暮らしを守るため、地域の防災・減災情報の発信拠点として、災害報道に全力で取り組みます。特に、南海トラフ巨大地震と大津波、富士山の噴火は約360万人が暮らす静岡県に甚大な被害を及ぼすおそれがあります。また近年大きな被害を出している台風、大雨や土砂災害、竜巻などの災害に備えて、防災・減災情報を繰り返し丁寧に伝えて県民の防災意識を高め、発災時には各メディアの特性を生かして、正確・迅速に情報を届け、県民に寄り添った発信を続けます。

■ 地域の課題に向き合い、地域に貢献する地域放送とインターネット発信に努めます

2021年の熱海土石流災害と2022年の台風15号による被災からの復興や、激変する国際情勢などの影響を受ける地域の経済と生活、社会的な課題について、放送とインターネットで多角的な発信に努め、県民に必要とされ頼りにされる放送局を目指します。全国のネットワークを最大限生かして平日午後6時台のニュース・情報番組と金曜午後7時台の地域放送番組を充実させます。NHKの公共的価値を高めるため、静岡が舞台の一つとなる大河ドラマ「どうする家康」と連携し、富士山など自然、歴史・文化を生かしたコンテンツや、サッカーなどプロ・アマチュアを問わず地域で愛されるスポーツを発信し、地域の発展に貢献します。地域放送番組や大河ドラマのNHKプラスでの配信をPRするなど視聴者のみなさまとのつながりを強化していきます。

福井放送局

■ 地域の課題や魅力を掘り起こし、地域に愛される公共メディアを目指します

再稼働と廃止の間で議論が続く県内の原子力発電所の動向や、2024年春の北陸新幹線(金沢-敦賀間)の開業に向けた動きなど、県民の関心が高いテーマを丁寧にわかりやすく伝えていきます。平日午後6時台のニュース・情報番組と金曜午後7時台の地域放送番組を両輪として、放送と連動したデジタル発信などコンテンツを強化、地域に愛される公共メディアを目指します。

■ 北陸新幹線開業を盛り上げ、地域の活性化に寄与します

北陸新幹線の県内開業に向けて、放送とイベントの連携を強化し、地域を応援します。新幹線沿線の市町はもとより、嶺南地域への発信の強化や2024年大河ドラマ「光る君へ」など、地域と連携した放送やイベントを実施し、福井県全体の活性化に寄与します。

富山放送局

■ 情報発信の拠点となり、地域に愛される放送局を目指します

大地震や水害などの災害時にも放送機能を維持し、命と暮らしを守るための情報を発信し続けます。第1スタジオと8Kシアター、ハートプラザを一体空間とした公開スペースを活用して、テレビやラ

ジオの公開番組を放送し、視聴者のみなさまとのつながりを深めます。また、放送とともに、SNSやインターネットなどとも連携させ、デジタル発信も一層強化し、幅広い世代に富山の情報を届けます。

■ **県民の期待に応え、地域の文化・生活の向上につながる情報を伝えます**

平日午後6時台のニュース・情報番組では、視聴者の目線に立ち、“今、県民が知りたいこと”を、伝え手の顔が見える形で届けます。金曜午後7時台の地域放送番組では、伝統文化・歴史・自然など、富山の魅力をさまざまな角度から伝える番組や、地域で暮らすみなさんが直面する課題を深く掘り下げる番組をお届けします。また、サッカーJリーグ「カタレ富山」をはじめとする地域のスポーツを、中継やニュース・情報番組で伝え、富山のスポーツを盛り上げます。

津放送局

■ **視聴者の期待に応え、“地域の役に立つ”放送局を目指します**

平日午前11時台の情報番組や午後6時台のニュース・情報番組を通じて、視聴者にとって必要な情報や暮らしの役に立つ情報を発信するとともに、地域に暮らす人々に寄り添い、生活者の視点で地元の課題を解決する方法を探り、地域の魅力を全国に発信する番組作りを行います。三重県は南海トラフ巨大地震による大規模な災害が予想されるとともに、近年の大雨などによる水害が甚大化する中、ニュースやL字型画面の放送などで、正確で信頼される防災・減災情報を届けます。

■ **視聴者とのふれあいを大事に、より身近な存在になります**

視聴者の意見や疑問を、SNSやホームページなどへの投稿も活用して幅広く集め、ニュースや情報番組できめ細かくこたえることや、公開イベントや地域で人気のスポーツ中継を実施して、視聴者と触れ合う機会を増やします。地域で活躍する人にスポットをあて、放送を通して応援することで、三重県がもっと元気になることを目指します。金曜午後7時台の地域放送番組では東海地方全体に視野を広げ、地域の課題や問題をより深く掘り下げると同時に、未来に向けた解決策を探ります。

岐阜放送局

■ **岐阜県の“いま”を発信、信頼と親しみのある放送局を目指します**

平日午後6時台のニュース・情報番組では、政治や経済、地域の話や暮らしに役立つ情報を丁寧に取材し、視聴者のニーズを見極めて発信します。取材者みずからが出演して解説を行うなど、よりわかりやすい情報発信に取り組み、作り手側の“顔が見える”身近な放送局を目指します。視聴者からの投稿も番組で積極的に活用しながら、地域の人々に“自分のための放送局”だと感じてもらえるよう、より地域に根ざした放送サービスに尽力します。

■ **地域の人々をつなぎ、未来の希望を伝える情報を充実させます**

岐阜県にはさまざまなルーツを持つ約5万7千人の外国人が暮らしています。文化も価値観も多様な隣人によりよく暮らしていけるよう、互いの距離を縮め、理解するきっかけとなる放送に取り組みます。また、自分たちの未来と向き合う若者の姿を追い、その視線の先にある地域や生活の課題とともに掘り下げます。多文化への理解と共生、希望の持てる未来につながる情報を、SNSやホームページとも連動し、広く発信していきます。

中国地方向け基本方針

- 西日本豪雨から5年。中国地方の各放送局は災害の教訓を忘れず、地域の安全・安心の拠点として、人々の命と暮らしを守る情報を正確・迅速に提供します。南海トラフ巨大地震など大災害を想定した広域の支援体制を西日本の各放送局とともに強化します。災害が発生した際には、公共メディアとしてあらゆる手段を駆使して防災・減災につながる情報発信に取り組みます。
- 地域に根ざしたきめ細かい情報の提供に努めます。新型コロナウイルスの感染拡大からおよそ3年が経過し“ポストコロナ”の時代に進む中、変容した暮らしや経済活動をはじめ、地域社会が抱える課題に向き合い解決の糸口を探るほか、中国地方の豊かな自然や特色ある歴史・伝統・文化など多彩な魅力を伝えます。NHKプラスで地域の情報を全国に発信するとともに、ホームページ、SNSも適切に活用し、広く届けます。
- 世界で核兵器の脅威が高まる中、被爆地・広島で「G7広島サミット(主要7か国の首脳会議)」が開催されます。原爆投下から78年、被爆者の高齢化が進み被爆体験の継承が課題となっているいま、世界から注目が集まる「G7広島サミット」を契機に、被爆の実相や核兵器廃絶を求める声と平和への願いを、さまざまな手法を活用して広島から全国・世界に発信します。
- 県知事選挙、県議会議員選挙を含む統一地方選挙(投票日・2023年4月9日、23日)などの各種選挙報道に万全の態勢で臨み、有権者の判断のよりどころとなる情報を提供します。
- プロ野球やサッカーJリーグ、バスケットボールBリーグなど、地域に根づいたスポーツの最新情報を伝えます。スポーツ中継や平日午後6時台のニュース・情報番組、ホームページ・SNSなどのデジタルを駆使して、視聴者のみなさまの高い関心に応えます。

各局の重点事項

広島放送局

- **全国・世界に向けて、核兵器廃絶の訴えと平和を願う“ヒロシマの声”を発信します**

2023年5月に「G7広島サミット(主要7か国の首脳会議)」が開催される被爆地・広島に世界の注目が集まります。被爆地にある放送局として被爆者の思いに寄り添いながら、核兵器の恐ろしさや廃絶を訴え、平和を強く願う“ヒロシマの声”を全国・世界に向けて発信します。また、「G7広島サミット」が地域経済に与える影響や、広島魅力を海外にアピールしようと奮闘する自治体や企業などの取り組みをニュースや情報番組、国際放送、ホームページやSNSを活用し多角的に伝えます。
- **災害から人々の生命と財産を守り、地域の安全・安心に貢献します**

西日本豪雨災害から5年。激甚化する自然災害から命と暮らしを守るため、平日午後6時台のニュース・情報番組では、継続して防災・減災への取り組みを伝えます。また、金曜午後7時台の番組では、これまでの復興の足跡と、今も残る課題を検証し記憶の風化を防ぎます。発災時には地域の安全・安心の拠点として、いかなる事態でも放送サービスを継続する体制を確保し、放送やインターネットなど、あらゆる手段を活用して正確・迅速に情報を提供し、県民の生命と財産を守ります。
- **地域の課題と向き合い、地域の魅力を発信することで、視聴者の関心に応えます**

“CONNECT(コネクト)=つなぐ”をキーワードに、平日午後6時台のニュース・情報番組では、地域が抱える課題と解決に向けた動きを取材し、ホームページでも詳しく伝えます。金曜午後7時台の番組では、地域のニーズに応じた硬軟さまざまなテーマを取り上げ、未来につなげていきたい広島の話をお届けします。プロ野球「広島東洋カープ」や昨季サッカーJリーグカップで優勝した「サンフレッチェ広島」、バスケットボールBリーグ「広島ドラゴンフライズ」など、地元のスポーツ情報を発信します。

岡山放送局

- **防災・減災報道に重点を置き、人々の安全・安心な暮らしに貢献します**

西日本豪雨災害から5年にあたり、復興の現状や課題などを継続取材し発信していくことで、災害の記憶の風化を防ぎます。平日午後6時台のニュース・情報番組の防災コーナーや金曜午後7時台の地域放送番組での防災特集、SNSからの生活・防災情報などの発信のほか、域内民放各社や県内ケーブルテレビと培った連携を生かしたコンテンツ展開も推し進め、県民の自然災害への心構え醸成につなげます。
- **地域情報発信を、興味深く！身近に！豊かに！**

民放各社が岡山・香川両県を同一電波圏として同じ番組を放送するエリアにおいて、NHKの県域放送の強みを生かし、社会・経済・医療・文化・教育・スポーツなど、あらゆる分野での情報発信の充実を図ります。県内に暮らす視聴者が一層“興味深い”と感じられる放送を実現するべく取り組みます。また、SNSやインターネット、イベントなど積極的な展開を行うとともに、地域の生活に密着した情報

発信を強化することで、幅広い世代に放送局を“身近”に感じてもらえるよう努めます。さらには、9月に開業予定の岡山芸術創造劇場「ハレノワ」と連動した県内の文化・芸術情報を積極的に発信していくほか、隣県の各放送局との連携を強化し、“豊かな”地域放送の実現につなげます。

松江放送局

- **新会館から地域の人々とともに新たな歴史を刻んでいきます**

2023年3月にオープンの新しい放送会館から、「災害に強い放送局」と「地域の交流拠点」を掲げて、これまで以上に地域とつながり開かれた放送局として地域経済の振興と課題や魅力の発信を強化していきます。平日午後6時台のニュース・情報番組では、NHKで中国地方初となるバーチャルスタジオ導入による多彩な演出をはじめ、隠岐の島の伝送拠点スタジオを活用した隠岐諸島の情報発信も強化しながら、公共メディアとして地域の発展に貢献していきます。
- **地域のネットワークを生かしながら“山陰地方の魅力”を伝えます**

島根、鳥取両県に点在するさまざまな課題や魅力の発信を強化していくために、これまでの総合テレビ金曜午後7時台の番組、土日祝日午後6時台のニュースに加えて、平日午前7時台の県域ニュースを、鳥取放送局と連携して“山陰ブロック”に拡大し、地域のニーズに応えます。島根原子力発電所の再稼働問題をはじめ、バスケットボールBリーグ「島根スサノオマジック」の活躍、隣接する山口県や鳥取県と連動して各地を巡る平日午後6時台のキャラバンなど、NHKネットワークを生かした情報網で山陰地方の今を発信します。

鳥取放送局

- **地域の発信力強化で“もっとながり”関心に応えます**

平日午後6時台のニュース・情報番組で、若手職員が1つの市町村に1週間滞在しながら地域の魅力を伝えるミニキャラバンを隔月ペースで放送するなど、地域に寄り添う情報発信に努めます。視聴者の声をもとに、現場に行きつて身近な疑問の解明や問題の解決を探る新企画を始めます。平日午前7時台の県域ニュースを、松江放送局と連携して“山陰ブロック”に拡大し、視聴者のニーズに応えます。NHKプラスの配信を最大限生かし、鳥取県の情報を全国に伝えます。
- **“頼れる、役立つ、元気になる” 地域公共メディアを目指します**

県民の命と暮らしを守るため、災害連携協定を結んだケーブルテレビとともに防災・減災への取り組みを強化します。鳥取県を知るための小学生向け教育コンテンツを作成してテレビ・ホームページで発信し、地域学習の充実に貢献します。サッカーJリーグ「ガイナーレ鳥取」などの企画リポート・中継・関連イベントを積極的に展開し、スポーツの力で地域を盛り上げます。

山口放送局

- **地域に根ざす公共メディアとしてすべての地域・すべての世代に確かな情報を届けます**

激甚化する自然災害から県民の命と暮らしを守るため、テレビやラジオに加えてインターネットや

データ放送など、あらゆる伝送路を使ってニュースや防災・減災情報を届けます。災害の危険が迫っている場合には、避難を促すなど命を守るための情報発信を的確に行います。SNSなどデジタル発信にもさらに力を入れ、山口県のすべての世代に寄り添う放送局として存在感を高めていきます。

■ **多様なコンテンツを発信することによって地域を盛り上げます**

それぞれの地域で育まれてきた伝統や文化、いきいきと躍動する人たちなど、地域が持つ魅力を発信します。また、抱える課題にも地域とともに向き合い、解決への道筋を探ります。サッカーJリーグ「レノファ山口」や高校野球など、地域のスポーツを“厚く・熱く”お伝えし、県民とともに盛り上がり、感動を共有します。山口県内だけでなく福岡や広島、島根といった隣接する県の情報も発信します。特に福岡県については、県境にある関門橋が開通50年の節目を迎えることや山口県民のニーズを踏まえ、発信を強化していきます。また、県内各地で公開収録やイベントを開催し、放送・デジタル・リアルイベントの三位一体でNHKの価値を届け続け、県民に愛され信頼される放送局を目指します。

九州沖縄地方向け基本方針

- 九州・沖縄の9つの放送局は、NHKならではのネットワークを生かし、公共メディア新時代にあふさわしい良質で多彩なコンテンツを提供します。1週間を通してより多くの人に接触してもらえるよう地域情報を充実させ、地域社会に貢献する放送局を目指します。
- 毎年発生する集中豪雨や台風、地震や噴火などの自然災害に備え、正確な情報を迅速に放送とデジタルサービスで届け、人々の命と暮らしを守ります。被災地の人々に寄り添った番組作りをするとともに、防災・減災につながる地域のさまざまな取り組みも積極的に発信します。
- 生活者目線にたって地域の課題解決を目指す番組を継続します。また、世界情勢の変化による物価上昇など生活面への影響がある中、地域経済を応援し、活性化につながる番組を発信します。さらに、新型コロナウイルスの最新情報を丁寧に伝えるなど、暮らしの安全を支える「信頼できる情報」の発信を強化します。
- デジタルシフトを意識した作り方改革を進め、コンテンツのインターネット最適化を図ります。さらに、NHKプラスを活用して九州・沖縄各地域の魅力を全国の幅広い視聴者層へ届けるとともに、外部プラットフォーム展開、ウェブ記事やSNSを活用した情報発信を充実させます。
- 視聴者のみなさまとの接点を広げる取り組みを意識したコンテンツ制作を行います。九州・沖縄のカルチャーを発信する番組や、親子世代が参加して楽しめるエンターテインメント番組など、幅広い世代に向けて、多彩なコンテンツを提供します。また、野球・サッカー・バスケットボール中継など、スポーツを通じて地域を盛り上げます。
- 統一地方選挙(投票日・2023年4月9日、23日)などの各種選挙報道には万全の態勢で臨み、放送やデジタルサービスを駆使した正確・迅速、公平・公正な報道で、有権者の判断のよりどころとなる情報を提供します。

各局の重点事項

福岡放送局

- **視聴者の疑問に応えながら、地域の課題解決につなげます**
雇用や経済、暮らしや子育て、環境やジェンダーの最新の動きや課題など、地域で暮らす人々の関心が高いテーマを深く掘り下げるほか、視聴者の疑問や問題提起を受け止めて取材・発信するなど、地域の課題を解決に導く取り組みを継続します。また、放送とともにデジタルコンテンツも活用し、視聴者との双方向のつながりを深めることで、地域間や世代間のギャップを埋める役割を果たします。
- **海外との交流の回復を機にアジア情報を積極的に発信します**
コロナ禍の出国制限が緩和され、外国からの観光客数が回復傾向となる中、歴史・文化・経済面でアジアとの交流が深い地域の特性を生かし、アジアに関する情報を積極的に発信します。オンラインでの交流に加え、海外取材の機会を増やしていくことで、各国の現状や多様な文化を紹介するニュースや番組を放送します。
- **地域の特色を生かした多彩な番組で視聴者の心に寄り添います**
福岡県域向けの放送では、県内各地のさまざまな人々の暮らしや日常に迫るドキュメンタリー番組や地元の伝統文化の継承に貢献する番組を制作します。また人々とのふれあいを通じて、地域の身近な話題や魅力を掘り起こすことで、視聴者の興味・関心に応えていきます。

北九州放送局

- **より視聴者に寄り添ったコンテンツの充実を図ります**
平日午後6時台のニュース・情報番組やラジオの番組などを通じて、視聴者の目線に立った情報や、視聴者とともに作り上げ参加感を満たすコーナーなど、市制60年を迎えた北九州市をはじめとする地域の課題解決に取り組むコンテンツを発信し、ウェブ特集などデジタルも駆使しながら、より視聴者に寄り添った放送の充実に努めます。
- **地域の特色や魅力をあまねく丁寧に伝えます**
近代産業の礎を築いた北九州・筑豊地区。こうした伝統を受け継ぐ環境や、ものづくりをはじめとした地域の特色、アジアの玄関口としての国際的役割といったエリアの魅力をあまねく取材し、国内はもちろん海外にも丁寧に伝えます。隣県の山口、大分とも連携し、県境での緊急報道に備えるとともに、関門橋開通50年など、歴史、文化、経済的なつながりを伝えます。

熊本放送局

■ 地域に寄り添い視聴者目線の番組を届けます

平日午後6時台のニュース・情報番組をリニューアル。金曜午後7時台の地域放送番組とともに、世界的半導体メーカーの進出に伴う地元の期待や課題など、熊本の“いま”を深く掘り下げるとともに、熊本地震や豪雨災害からの復興、水俣病など熊本固有の課題にも向き合います。出演者は積極的にスタジオから飛び出し、視聴者目線で“お得な情報”を届けるとともに、視聴者のみなさまの声を生かして地域の課題解決に貢献します。また、放送とともにデジタル発信を強化し、質・量ともに充実させます。

■ 地域とともに歩むスポーツを応援します

サッカーJ1昇格まであと一步に迫った「ロアッソ熊本」やバスケットボールBリーグ「熊本ヴォルターズ」を、試合の中継などさまざまなかたちで応援します。高校野球をはじめとしたアマチュアスポーツも積極的に取り上げるほか、プロ野球や大相撲など、県ゆかりの選手らの活躍も、郷土で応援する視聴者のみなさまに届けます。

長崎放送局

■ 開局90年 これからも長崎と歩みます

“go これからも長崎と”をキャッチフレーズに、コンテンツを発信します。平日午後6時台のニュース・情報番組では、過去の膨大な映像資料の中から、伝統的な風習や祭り、豊かな自然、貴重な瞬間を捉えた映像を紹介するコーナーを新設するほか、県内全21市町を巡回して旬の話題を中継やリポートでお伝えします。また、長崎をテーマにした番組の中から再放送の要望が多いコンテンツをアンコール放送し、地域の魅力を再発見します。

■ 地元スポーツチームとサポーターを応援します

サッカーJリーグ「V・ファーレン長崎」とバスケットボールBリーグ「長崎ヴェルカ」の試合中継や選手を取り上げたリポートの発信を強化し、2024年秋に予定されている両チームの本拠地「長崎スタジアムシティ」オープン前からチームとサポーターの地元愛を伝え、応援します。

鹿児島放送局

■ 視聴者のニーズに応えるコンテンツを発信します

豪雨で49人の死者・行方不明者を出した「8・6水害」から30年となり、防災シンポジウムを開くほか、シリーズ企画も放送し、水害の教訓を地域の防災・減災に生かします。また奄美群島が日本復帰を果たして70年。イベントや特集番組で地域の変化や未来を見つめます。さらに「かごしま国体」も開催されることから、出場者やそれを支える人々にスポットを当て、地域のスポーツを盛り上げます。

■ 地域の課題を掘り下げるとともに、地域の魅力を発信します

自衛隊基地の建設計画が進められている西之表市の馬毛島の現状や、米軍無人偵察機が配備された自衛隊鹿屋航空基地を巡る動き、さらに運転期間が40年に近づく川内原子力発電所の最新情報など、

地域の課題にも向き合い、掘り下げていくコンテンツを発信します。また自然豊かな県内の離島の魅力や、コロナ禍を経た地域の経済・観光・文化・食などについても伝えていきます。

宮崎放送局

- 「もっと地域へ、もっと若い世代へ」をスローガンに地域に役立つ放送局を目指します
リニューアルした平日午後6時台のニュース・情報番組において、県域ニュース・地域の課題解決型コーナーをさらに充実させながら、若い世代とともにコンテンツを制作する機会を創出します。放送・デジタル・イベントの連動した施策に取り組み、より多くの視聴者との接触機会を増やし、県民に役立つ放送局として地域に向き合います。
- 置県140年を迎える宮崎の魅力再発見に貢献します
2023年に置県140年を迎える宮崎県。この節目となる年に「宮崎県人会世界大会」が初めて開催されます。これまでの“宮崎”、そしてこれからの“宮崎”を伝える地域の放送局として、蓄積された過去のアーカイブ映像を活用したキャンペーンを展開し、自治体などの関係団体とともに大会への機運醸成に取り組み、宮崎の魅力再発見、そして地域の活性化に貢献します。

大分放送局

- 地域の課題に向き合い、活性化に貢献します
平日午後6時台のニュース・情報番組は、より一層視聴者の関心に応える番組を目指し、内容を刷新します。人口減少問題やコロナ禍からの回復を目指す観光、若者の働き口不足など、地域が直面する課題に丁寧に向き合い、地域のなかで存在感のある番組を目指します。また、地域での暮らしや地元に基づく食文化などを掘り起こし、大分県の魅力を再発見していきます。大分の魅力を全国に発信することで地域の活性化に貢献していきます。
- 視聴者に親しまれる放送局を目指します
地域放送番組は県民のみならずに会いにいく機会を積極的に生み出し、県内各地のつながりを一層強化します。幅広い世代により親んでもらうため、大分放送局のキャラクター「おけまる」を活用するなど、放送・デジタル・イベントを効果的に組み合わせ、新たなタッチポイントを創出していきます。

佐賀放送局

- 広く県民に親しまれる放送局、地域の課題に向き合う放送局を目指します
新放送会館を活用した放送・イベント等を展開し、地域サービスの充実と地域のにぎわい創出に貢献します。自衛隊の輸送機「オスプレイ」の配備計画に関する動きや、九州新幹線西九州ルートで整備方針が決まっていない区間や並行在来線の今後、玄海原子力発電所を巡る動きや吉野ヶ里遺跡の発掘調査など、県民の関心が高いテーマをタイムリーに伝えます。地域を元気にする放送で、佐賀の魅力を全国に発信します。

■ 佐賀のスポーツを応援します

国民体育大会から名称が変わった「国民スポーツ大会」が2024年に全国で初めて佐賀県で開催されます。夏には九州の北部4県で高校総体も開かれる予定です。これらの大会に向け、県内の選手やスポーツに関わる人々を応援し、放送やデジタルで発信します。サッカーJリーグ「サガン鳥栖」やバスケットボールBリーグ「佐賀バルーンズ」など地元プロスポーツチームにも注目し、スポーツの魅力を伝えます。

沖縄放送局

■ 「本土復帰50年」で培ったもの、コンテンツをつないでいきます

本土復帰50年となった2022年、“つなぐ未来へ”をテーマに、多くの取材、番組制作で得たものを発信力強化の礎とし、次の10年、50年につないでいきます。「沖縄全戦没者追悼式」の全国中継をはじめ、沖縄の戦争体験を放送・イベントで語り継ぐほか、首里城再建の道筋や沖縄が誇る世界遺産・伝統文化などを取り上げたコンテンツを充実させ、沖縄の歴史・未来を県内、全国に伝え続けます。

■ 沖縄県域ニュースを充実させ、地域の信頼に応えます

平日午後6時台のニュース・情報番組はバーチャルスタジオにリニューアル。多様な演出に取り組み、視聴者にとって親しみやすくわかりやすいコンテンツを目指します。普天間基地移設などのアメリカ軍基地問題、緊張が続く台湾海峡など安全保障を巡る問題、経済や教育、貧困など、沖縄が抱える課題を丁寧に取材、多様なニュースを発信し、視聴者の信頼に応えます。

東北地方向け基本方針

- 東北各地で相次ぐ豪雨など自然災害から“命”を守る防災・減災報道を強化するとともに、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震などへの備えを検証し、地域の防災力の向上につなげます。新型コロナウイルス感染症から命を守り、暮らしの安全を支える情報や、物価上昇による家計への影響などの身近な情報をタイムリーに発信します。また、人口減少など地域の課題を見つめて解決につながる対策をさまざまな角度から提示します。選挙報道では有権者の判断に資する情報を正確・迅速、公平・公正な放送で伝えます。
- 自然・文化・暮らしなど東北の魅力あふれるコンテンツを届け、地域に住む人々の“ふるさと”への愛着を深めます。また全国にも発信し、温泉地など長期化するコロナ禍でダメージを受けてきた地域社会を応援します。週末の地域情報番組では、デジタルをさらに活用し、地域密着の情報をより多くの視聴者に届けます。
- 東日本大震災から12年。地域の“にぎわい”の再生や原発事故からの復興など、いまだに多くの課題が残る被災地の現状を伝え続けます。蓄積されたデータを活用して復興政策の検証を進め、これからの復興のあり方を被災地の人々とともに考えます。放送だけによらない多様な形で震災の経験に触れる機会をつくります。
- 放送とデジタルやイベントの連携を進め、学生や子育て世代にもタッチポイントを広げて、地域のイベントやスポーツを盛り上げ、感動と共感の輪を広げます。視聴者とのコミュニケーションをより充実させ、地域の方々とともにコンテンツを創る取り組みを進めます。

各局の重点事項

仙台放送局

- **平日午後6時台は地域とつながる“ポータルコンテンツ”として強化します**
平日午後6時台のニュース・情報番組は、“宮城のきょう1日がわかり、あすの暮らしに役立つ”をキーワードに、生活者目線に立った取材で視聴者の“知りたい”に丁寧に応えます。各市町村の旬の話題を寄せてもらい、身近な地域の魅力を発見・発信するなど、番組を視聴者と一緒に作り上げていくことを強化します。その他の地域放送番組と連動したコンテンツのマルチ展開も進めながら、デジタルやイベントの場も活用して地域と深くつながり、働く世代や若い世代にもしっかり届けます。
- **放送・デジタル・イベントを連携させたコンテンツを若い世代にも届けます**
東北温泉地応援プロジェクトでは、デジタルを活用した参加型企画を実施するなど、地域の元気につながるきっかけを作ります。過去に取材・撮影した映像で故郷の魅力を再発見してもらうアーカイブス活用や、世代を超えて未来に伝える震災伝承など、地域の公共メディアとしての役割を果たします。祭り・音楽フェスティバル・スポーツイベントなどの催しと連動して、視聴者と一体となって地域を盛り上げます。デジタルやイベントを連携させたさまざまなコンテンツを通じて、幅広い世代、特に学生や子育て世代との放送外での接点を増やします。

秋田放送局

- **地域の暮らしを支える情報の社会的基盤としての役割を果たします**
自然災害が激甚化する中、台風や豪雨、大雪などのおそれがある場合には早い段階から、きめ細かな情報の発信に力を入れます。放送に加えインターネットも活用して防災情報を届けます。県内で83人が犠牲になった日本海中部地震から40年の節目にあわせて、ニュースや番組を通じ、記憶の風化を防ぐとともに、津波への備えを呼びかけるなど、地域の防災力強化に貢献します。週末も含め毎日午後6時台の地域放送番組で、新型コロナウイルスをはじめ、日々の生活に直結する情報や、各地の詳しい気象情報を伝え、地域の暮らしに役立つ放送サービスに尽力します。
- **地域の課題を見つめ、秋田の明るい未来へ向けて一緒に考えます**
国内有数の適地として建設が進む秋田県沖の洋上風力発電による県内産業の活性化の可能性や、赤字に悩む地域の公共交通機関の今後のあり方など、地域の課題やテーマと向き合い、ともに考えます。秋田の将来を担う若い世代に焦点をあて、チャレンジを応援する番組などを発信します。また、豊かな自然や多様な文化など秋田の魅力を掘り起こし全国にも届けることで地域の活性化に貢献します。地元のプロスポーツの中継などを通じ地域に元気を届けます。コンテンツと連動したイベントやデジタル展開なども活用して地域の人々との接点を増やし、身近で信頼される放送局を目指します。

山形放送局

- **放送とデジタルの両輪で地域の魅力を多角的に発信し、地域に新たなつながりを創出します**
“やまほど、やまがた愛”のキャッチフレーズのもと、米や果物、日本酒などに代表される豊かな食文化、特色ある伝統や歴史など多彩な魅力を、放送とデジタルを駆使して発信し、地域に元気と活力を届けます。また、豪雨で被害を受けた置賜地域で番組やイベントを集中的に展開するプロジェクトを全局体制で推進するとともに、山形市内には新たなサテライト拠点を設置、誰もが自由に集える親しみやすい空間を自治体や大学などと連携しながら育てていくことで、地域の視聴者との結びつきをより強めます。
- **“課題先進県”として地域の課題に向き合い、必要とされる放送局を目指します**
平日午後6時台のニュース・情報番組と金曜午後7時台の地域放送番組では、防災・減災、新型コロナウイルス感染症など県民が必要とする情報を正確・迅速に発信するとともに、少子高齢化や過疎化、主要産業である農業などの課題に丁寧に向き合う“課題解決型”の企画を強化していきます。また、土曜午前9時台の番組では、引き続き親しみやすさとわかりやすさを大切にし、新たな視聴者の獲得につなげます。これら個性あふれる3つの番組を効果的に展開していくことで、地域における存在感を一層高めていきます。

盛岡放送局

- **岩手県の全自治体の魅力を発信するとともに、県民の暮らしを守ります**
県内33の自治体ごとの魅力を、集中的に取り上げる企画を引き続き放送します。人口減少や経済の衰退などの地域課題、地域の美しい風景や伝統行事、それに地元のスポーツなどを幅広く伝えます。また、東日本大震災を巡る課題を踏まえ、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震をはじめ、今後想定される災害への対策など、防災・減災への意識を高めることに資する情報を発信します。
- **若い世代の意見に耳を傾け、放送・デジタル・イベントでつながります**
土曜午後6時台の地域放送番組を中心に、特に若者に焦点を当てたテーマを取り上げることで、地域と若者をつなげる役割を担います。また、若い世代に意見を聞く、独自のモニター制度を継続し、番組内容の改善に取り入れます。さらに、誰もが時間や場所を選ばず情報にアクセスできるよう、デジタル発信やNHKプラスの普及に努めます。そして、県内各地の集客力が高い大型商業施設に、テレビを見ないという人にも、NHKのコンテンツや取り組みを伝える拠点を設けるなど、放送・デジタル・イベントのあらゆるメディアを使って届けきります。

福島放送局

- **震災・原発事故からの復興や地域振興など福島県の課題に向き合い、地域に貢献します**
東日本大震災と原発事故からの復興やトリチウムなどを含む処理水の海洋放出の問題など福島県の課題に正面から向き合い、最新のVR技術も駆使して現状や課題を正確にわかりやすく伝えるとともに、相次ぐ地震や大雨などに対する緊急報道を強化し放送・デジタルで展開して県民の安全・安心に役立つコンテンツを発信します。原発事故による風評の払拭(ふっしょく)にもつながるよう地域

の魅力を発信し、県内の民放など他メディアと連携した取り組みを進めるとともに、地域のスポーツチームや観光、産業などを多角的に取材して地域振興に貢献します。

■ **より多くの県民に活用してもらえ放送局を目指します**

これまでタッチポイントが少なかった県民にも積極的に働きかけ、必要とされる放送局を目指します。県民から寄せられた身近な情報や疑問をさらに取り入れながら番組を制作するなど、双方向を念頭に置いて、県民とのつながりを重視したコンテンツを増やします。いつでもコンテンツに触れもらえるように、放送・デジタル・イベントを展開して、より多くの県民との接触機会を設けていきます。大学生が放送やイベントのアイデアを提案する「NHK学生委員会」などの取り組みを通じ、これからの福島県を担う若い世代にNHKの魅力を感じてもらおうとともに福島県の魅力を多角的に発信します。

青森放送局

■ **地域のみなさんと手を携えて、青森の元気を応援します**

世界遺産登録から30年を迎える白神山地や、生誕120年となる版画家・棟方志功、各地の夏祭りや豊かな食材など、青森には誇れる魅力がたくさんあります。その魅力を全国・世界に発信し、青森の元気を応援します。地域のみなさんと手を携えることを大切にしながら、地元で活躍する人を後押しする番組や、人々の疑問に答える取り組み、地域の活性化に貢献する機会を充実させ、“使ってもらおう”放送局への深化を一層進めます。

■ **わかりやすい情報発信で、広い世代の“知りたい”に応えます**

2022年夏の豪雨では、津軽地域に大きな被害がもたらされました。災害時はもちろんのこと、選挙や感染症といった日々の暮らしに関わる情報、またコロナ禍で受けたダメージや、少子高齢化、人口減少など、地域の課題についてわかりやすい情報発信に努め、地域のみなさんの“知りたい”に応えます。放送だけでなく、デジタルの活用や、学生や子どもに直接届ける機会を積極的に設けることで、幅広い世代に地域の情報を届けます。

北海道地方向け基本方針

- NHK北海道の7つの放送局が一丸となり、地域の人たちにとって“身近で必要とされる公共メディア”になることを目指します。放送・デジタル・イベントを融合して、地域や視聴者との新たな関係を構築します。
- “道民目線”を心がけ、視聴者が知りたい、必要とする情報を発信し、視聴者のみなさまに信頼される放送・サービスを目指します。平日午後6時台の北海道向け・エリア向けのニュース・情報番組は放送時間を拡大し、さらなる充実・定着を図ります。金曜午後7・8時台の地域放送番組では、地域の課題や魅力を見つめ、活性化につながる情報を届けます。ホームページやSNSなどのデジタルツールを活用した情報発信、NHKプラスの見逃し配信サービスなどを通じて、幅広い層の視聴者にコンテンツを届け、公共メディアの価値の最大化に努めます。
- 道民の命と暮らしを守り、高い関心に応えるという公共メディアの使命を果たします。千島海溝・日本海溝沿いで想定される巨大地震・津波や道内各地の暴風雪、火山噴火などの防災・減災に役立つ情報、新型コロナウイルスによる道内の社会や経済への影響、道内各地に出没するヒグマの対策、道知事選挙や道議会議員選挙、札幌市長選挙が行われる統一地方選挙(投票日・2023年4月9日、23日)などの情報を、的確・迅速に伝え、放送やデジタルコンテンツを適切に組み合わせさらに深く掘り下げます。また、北海道の全179市町村と築き上げてきたネットワークを大切に、それぞれが持つ魅力や地域の活性化につながる情報を親しみやすく届けます。
- 地域を舞台とし、地元から愛されるスポーツに関する情報を積極的に発信します。新球場で躍動が期待されるプロ野球「北海道日本ハムファイターズ」などのプロスポーツやウィンタースポーツ、パリオリンピックの新競技として注目される「ブレイキン」などについて、放送・デジタル・イベントを効果的に連動させてライブ感と参加感を楽しめるサービスを提供します。札幌市が目指している2030年冬季オリンピック・パラリンピックの大会招致の是非を巡る動きを伝えます。

各局の重点事項

道央エリア

札幌放送局、室蘭放送局の力を合わせて“石狩・空知・後志・胆振・日高地方”にくまなく焦点を当て、地元からの中継や、地域に根ざした課題を掘り下げる企画などを視聴者目線で伝えます。ホームページやSNSなどのデジタルツールも活用して、ニュースや地元の話題、防災・減災情報を幅広く、地域のみなさまに届けるように努めます。

札幌放送局

- 道央エリアや北海道地方の視聴者が“今知りたい”情報を届けます
都市部の生活インフラに大きな影響を与える大雪や、相次ぐヒグマの出没など、人々の暮らしに直結する“今知りたい”情報を迅速にきめ細かく届けます。高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定を巡る次の段階の調査へ進むか否かという動きや、北海道の経済や文化を支えてきた札幌中心部の再開発など、道央エリアや北海道地方の視聴者の関心に向き合い、ともに考える報道に取り組みます。また、NHKプラスでの見逃し配信サービスの普及促進に努めます。

室蘭放送局

- 胆振・日高の安全・安心と地域の活性化に役立つ情報を発信します
日本海溝・千島海溝沿いで想定される巨大地震と津波、火山噴火、多発する風水害への備え、発生から5年となる北海道胆振東部地震の被災地の歩みなど、地域の安全・安心や復興に役立つ情報をインターネットも活用しながら重点的に伝えます。アイヌ文化をはじめとする地域の文化、国立公園化が進められる日高山脈などの豊かな自然、観光、農業・漁業、製造業、まちづくりを巡る課題や新たな取り組みを取材し、胆振・日高の未来につながる情報を発信します。

道北・オホーツクエリア

平日午後6時台のニュース・情報番組を充実させるほか、道北・オホーツク向けの地域放送番組も発信することで、地域交通網の存続問題やぜい弱な医療体制など、地域が直面する課題の解決策を考えていきます。また災害情報や地域スポーツなど視聴者の関心が高い情報をデジタルも活用して多角的に伝えます。さらに放送とインターネット、放送とイベントの連動を進めて、視聴者との関係を強化し、地域活性化に貢献します。

旭川放送局

- 視聴者の“知りたい”に応え、地域の課題を視聴者と一緒に考えます
視聴者の命と暮らしに直結する、大雨や暴風雪などの災害情報を正確・迅速に伝え、被害軽減につながる減災報道に努めます。また、JRの路線廃止にともなう交通網の縮小など道北地方独自の課題

をしっかり掘り下げ、地域活性化に向けた新たな取り組みを多角的に発信することで、明るく元気な地域づくりに貢献します。

北見放送局

■ オホーツク地方のさまざまな魅力を発信し、地域を元気にします

オホーツク地方の豊かな自然など、さまざまな魅力をインターネットなども活用して幅広く発信します。人口減少、交通基盤の不足、医療・介護など、地域の課題解決に向けた取り組みや、カーリングなど地元で盛んなスポーツの情報をきめ細かく伝えます。地域・生活に密着した情報発信でオホーツク地方を盛り上げます。

道東エリア

平日午後6時台のニュース・情報番組で、釧根・十勝地方のみなさまに地域に密着した情報を伝えます。千島海溝・日本海溝沿いで想定される巨大地震・津波や激甚化する災害の防災・減災報道をL字型画面などさまざまな手法や伝送路で正確・迅速に伝えます。基幹産業である畑作・酪農・畜産・水産・観光などでの取り組み、コロナ禍での経済活性化策など全32市町村の地域課題を掘り起こし、地域の人々と連携しながら解決策を探っていきます。放送番組と連動したインターネットサービスも積極的に取り入れ、必要な情報を届けていきます。

帯広放送局

■ 地域に根ざし、納得感と親近感が得られる放送を届けます

国内有数の食料供給基地である十勝が抱える諸課題、地元資本の老舗デパート閉店を受けた雇用問題や新しい街づくり、新型ロケット打ち上げなど地域の関心が高いテーマを深く掘り下げて地域や全国に発信し、視聴者のみなさまに納得感と親近感をもっていただき地域に貢献する放送を届けます。若年層から見た地域や生活の課題をともに見つめ、幅広い年代から支持・信頼される放送局を目指します。

釧路放送局

■ 地域に寄り添った視点で、地域を元気にする、地域の役に立つ情報発信に力を入れます

北方領土問題の現状や元島民の思い、伝統に根ざしたアイヌ文化、管内に3つある国立公園などの雄大な自然の魅力・保護の課題などについて地域に寄り添った視点で取材し全国にも情報発信します。アイスホッケーなど親しまれているスポーツ、地域活性化に取り組む人たちの活動取材し、地域を元気にし、役に立つ、地域からの情報発信に力を入れます。

道南エリア

函館・北斗の2市はもちろん、渡島・松山地方18自治体に密着した情報発信をさらに充実させます。テレビでは平日午後6時台の地域のニュース・情報番組を強化します。地域課題の掘り起こ

しや防災・減災報道に加え、毎週金曜日は放送時間を拡充し、週末に向け地元が活気づく情報をお届けします。さらにホームページやSNSを駆使して、地域の情報をより多角的・多面的に伝えていきます。

函館放送局

■ 地域課題の掘り起こしと防災・減災報道で道南の暮らしに貢献します

統一地方選挙では、健全な民主主義の発展に寄与する報道を行います。コロナ禍や円安で深刻な影響を受けた道南の地域課題を丁寧に掘り起こし、その解決策も含めて道内外に発信します。津波や地震、そして大雨・火山噴火などの災害へどう備えるか、地域の防災意識向上に貢献する放送を継続していきます。

四国地方向け基本方針

- 南海トラフ巨大地震や激甚化・広域化する豪雨災害に備え、地域の安全・安心を支える拠点として、防災・減災につながる情報の発信に引き続き取り組みます。放送、インターネット、データ放送、SNS などさまざまな媒体を組み合わせ、災害情報を正確・迅速に、あまねく伝えます。また、西日本各地の放送局との連携をいっそう強化し、有事の際の緊急報道に万全を期します。
- 四国の4つの放送局は、地域の課題に向き合い、地域に寄り添う放送局を目指します。地域の視聴者のニーズを調査・分析し、関心の高い多彩な番組を提供します。SNSを駆使し、幅広い世代とのタッチポイントの創出に努めます。また、四国ゆかりの人物をモデルにした「連続テレビ小説」を起点に、地域ならではの放送やイベントを多方面に展開し、四国の活性化に貢献します。
- 地域のニュース・情報への関心により応えるため、県域での発信強化に継続して取り組みます。統一地方選挙(投票日・2023年4月9日、23日)をはじめとする選挙報道では、有権者の判断のよりどころとなる情報を公平・公正に伝えます。“ウィズコロナ”時代の暮らしに必要な情報や経済活性化の取り組みをさまざまな角度からわかりやすく伝えます。
- 四国の豊かな自然や文化、四国で活躍する人々、そしてスポーツなど、地域ならではの魅力や活動を広く発信し、地域を応援します。また、視聴者とのつながりを何よりも大切にし、放送やイベントに組み込み、地域と一体となって四国を盛り上げます。デジタル発信やNHK プラスを活用し、幅広い世代に地域の情報・コンテンツを届けます。

各局の重点事項

松山放送局

■ 安全・安心を守る報道に全力で取り組みます

南海トラフ巨大地震や、台風や豪雨などの自然災害に備え、地域の防災・減災につながる情報を多角的に発信します。発災時には、地域の安全・安心の拠点として、SNSでの発信にも重点をおきながら、正確・迅速な緊急報道に全力であたり、被災者が必要とするライフライン情報をきめ細かく伝えます。また、地元民放局や新聞、ケーブルテレビとの連携を強化し、地域の防災力向上に努めます。伊方原子力発電所の安全対策を引き続き注視して伝えるとともに、5年目となる西日本豪雨の被災地に暮らす人々が抱えるさまざまな課題などをこれまでの蓄積も生かしながら、放送・デジタルで発信します。

■ 視聴者の関心に寄り添う情報を届けます

視聴者の“知りたい”に応える全局的な活動に引き続き取り組みます。SNSを活用して視聴者と双方向でつながり、地域の課題を掘り起こし、ともに解決策を探ります。また、視聴者のニーズをさまざまな調査・分析を組み合わせ丁寧に把握し、視聴者起点を第一に放送・デジタル・イベントを融合した視聴者コミュニケーションを展開します。2025年の放送開始100年を前にNHKの貴重な財産であるアーカイブス映像を活用し、新たな付加価値をつけ地域の歴史や魅力を再発信します。

■ 愛媛や四国の魅力を伝える多彩な番組を発信します

日本で最初に国立公園に指定された瀬戸内海国立公園が2024年3月に90周年を迎えます。愛媛、四国の豊かな自然の魅力を多角的に伝え、次世代へとつなぐ役割を果たします。また、俳句や遍路など、愛媛・四国が誇る文化を国内外に広く発信します。サッカーJリーグやバスケットボールBリーグといった地域のスポーツを取り上げ、幅広い世代とのタッチポイントを創出します。これら地域の番組のデジタル展開にも積極的に取り組み、コンテンツをあまねく届けます。

高知放送局

■ 災害情報をさらに充実させて命と暮らしを守ります

台風や大雨などの災害時に高知県の人たちの命と暮らしを守るための情報発信をさらに充実させます。県内各地の郵便局員の協力により災害時の状況の映像を送ってもらう取り組みを進めることや、インターネットを通じた発信を拡大し、災害情報を正確・迅速に、多くの人に届けます。また、高知県にとって最大のテーマである南海トラフ巨大地震に備え、防災・減災に役立つ情報発信や地域の課題を掘り下げる番組の展開に力を入れます。さらに巨大地震の発災時に使用する朝倉サテライトスタジオをふだんの放送に積極的に活用し放送継続に向けた対策を進め、“災害情報は NHK”の期待に応えます。

■ 県内外の“高知をもっと知りたい”にしっかり応えます

2023年度前期連続テレビ小説で、高知出身の植物学者・牧野富太郎博士を主人公のモデルにした「らんまん」が放送されます。高知県の自然や文化、歴史、それに観光に対する関心が県内や全国から高まるこの機会に、ドラマに関連する情報や地域の動き、観光情報を丁寧に取材します。そして放送

とインターネットを活用して高知の魅力を広く発信し、“高知をもっと知りたい”の声にしっかり応え、高知放送局の発信力を強化していきます。年度後期も県が通年で主催する「牧野博士の新休日」という観光キャンペーンと連携するなどして、さらに高知の情報を県内外に発信して地域の活性化に寄与し、公共メディア＝NHKの存在意義を高めます。

徳島放送局

■ 南海トラフ巨大地震に備える防災・減災報道に、地元と一体となって取り組みます

徳島県は、四国4県の中でも南海トラフ巨大地震と津波による甚大な被害が想定されています。西日本BCPにおいて大阪放送局、松山放送局と連携しながら、県民の危機意識を高めるために、日頃から、県内の郵便局、地元ケーブルテレビとの提携を深め、大規模災害の情報を迅速に伝えられる体制を強化します。

いざ災害が起きた際には、まず命を守るための情報や被害状況、次に被災した人たちに必要なライフライン情報や復旧・復興につながる情報を、ケーブルテレビに加えて、地元民放局、FM局とも連携し、多くの人に届けられる体制を強化します。

■ 開局90年 100年へ向けた NEXT10と位置づけ徳島の役に立つコンテンツとイベントを届けます

2023年7月、NHK徳島放送局は開局90年を迎えます。徳島をテーマにした番組のアンコール放送を行うほか、アーカイブスを活用して徳島県内の全自治体の今昔を振り返るコンテンツを展開します。さらに10年後の開局100年に向けて、視聴者のみなさまにも参加していただけるさまざまなイベントを行います。これまで支えていただいた徳島のみなさまに感謝し、徳島の課題となっている少子高齢化、過疎と向き合い、子育て世代を支援し、地域を活性化する放送局として徳島県に寄与します。

高松放送局

■ 地域の安全・安心を守る情報発信に全力で取り組みます

南海トラフ巨大地震や台風・大雨・高潮などの災害から命と暮らしを守る情報発信に全力を尽くします。災害発生時は放送・デジタルを迅速に立ち上げ、リアルタイムの状況をきめ細かく伝えます。平常時は、地域の特徴や災害への備えが具体的にわかるコンテンツを展開します。発災時に使用する松縄サテライトスタジオをふだんの放送でも積極的に活用します。また物価高や新型コロナウイルスなどで先行きへの不安が増している地域に真摯(しんし)に向き合い、SNSも使って視聴者の声を集め、暮らしを守る方策を探ります。

■ 地域密着の発信で地域の活性化を応援します

“香川の情報に特化する”と強く打ち出し、地域密着の放送を引き続き充実させます。午後6時台のニュースでは、地域の課題や話題を1週間にわたって集中的に取り上げる市町ウイークを実施します。地域の歴史や文化、観光などをテーマにしたニュース・番組を制作するとともに、放送・デジタル・イベントが連動した視聴者のみなさまとの接点を広げる取り組みを展開します。香川ゆかりの人物をモデルにした2023年度後期の連続テレビ小説「ブギウギ」を起点に、地域を元気にするコンテンツ制作に取り組みます。